

# 記録的大雨 九州北部豪雨災害 復旧支援活動にボランティアを派遣



7月11日(水)から14日(土)にかけて九州北部を襲った記録的な豪雨は、熊本、福岡、大分、3県で30名を超える死者・行方不明者を出すなど、各地に甚大な被害をもたらしました。22日(日)に、今回の豪雨により出されていた避難指示はすべて解除され、被害の少なかった地域では住民が自宅へ戻ったものの、不安定な天候への懸念から、避難生活を続ける人たちも多いとみられています。

熊本YMCAは、キャンプ施設である阿蘇YMCAと4つの保育園を阿蘇市で運営しています。阿蘇市では特に被害が大きく、関係者の家庭でも浸水被害を受けるなど様々な影響が出ました。尾ヶ石保育園(阿蘇市狩尾)では、がけ崩れの不安から22日(日)までの10日間休園し、一部の園児を他の3園で受入れるなど対応しました。

熊本YMCAは阿蘇市社会福祉協議会が設置する「阿蘇市災害ボランティアセンター」との協力を確認したうえで、阿蘇YMCA(阿蘇市車帰を「YMCA阿蘇災害支援ボランティアハウス」として位置づけ、県内外から被災地入りするボランティアの受入れを決定。活動(作業)場所は、阿蘇市ボランティアセンターが阿蘇市117の区長の調査から得た情報を基本に行うことや、被災者やボランティアに対し、宿泊先・食事・風呂等を無償で提供することを決めました。

15日(日)、16日(祝)は、呼びかけに応じたYMCA会員や職員、鹿児島YMCAの職員ら延べ70名余りが集まり、阿蘇YMCA周辺と跡ヶ瀬地区で、家屋や側溝の泥のかき出しや家財道具の運び出しなどに取り組みました。また、21日(土)、22日(日)にも内牧地区・跡ヶ瀬地区で支援活動が行われ、日本YMCA同盟、横浜YMCA、北九州YMCA、福岡YMCAなどから駆けつけたボランティアとともに学生や職員が復旧作業にあたりました。

さらに、YMCA学院の学生らは「熊本市災害ボランティアセンター」の要請を受け、20日(金)から30日(月)、白川の氾濫で被害を受けた熊本市北区龍田でのボランティア活動に従事しました。

熊本YMCAでは、今後も各機関と連携しながら支援活動に取り組んでいきます。全国のYMCAでも、九州北部豪雨のための募金活動が8月まで行われます。皆様のご支援をお願いいたします。

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

YMCA

KUMAMOTO

NEWS

YMCA August 2012 vol.483

8



水上安全講習会(着衣泳)

- CONTENTS
- ①九州北部豪雨災害 ボランティア派遣

②YMCA阿蘇キャンプ開設60周年募金のお願い  
熊日学童五輪大会体操競技で優勝・準優勝

③東部YMCA交流キャンプ  
カナダ語学研修体験記  
アガベNo.77「奉仕の精神を過去から未来へ」

④Life 第49回 テーマ「登校拒否・不登校」  
フレンズネットワークくまもと 江藤圭子さん②  
Topics 高等学校お仕事探検フェア  
城下町くまもとゆかた祭  
水前寺幼稚園バザー

わたしと聖句

ガラテヤの信徒への手紙2章20節

生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。

キリストを背負って

パウロは、自分の内に生きておられるキリストを強調します。キリスト者とは、キリストを受け入れる者です。キリストが内に生きていることです。パウロの行いはすべてキリストから

出ているキリストの業です。東日本大震災救援のための1年間、仙台にいました。被災者のお宅を一軒一軒訪問する日々でした。「何かお助けできるものはありますか」と聞けば、「私たちより困っている人のところへ」と言われました。そこでも救援が必要でした。その時「少しお話を聞かせてください」と声をかけます。その時、被災者に必要なものは「家と仕事」でした。その支援は大きすぎて私たちにできません。被災者の方から「ルーテルさんがくると元気になるよ」「何回もやってきてね」と言われることが感謝でした。被災者のおじいさんが

言ってくれました。「あんたらはキリストさんをしょってる」と。その一言に涙が出ました。

パウロは「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられる」と教えています。宣教に派遣される弟子たちも、キリストが内に生きています。私たちが支援活動をさせていただく時、そこにはキリストがおられました。背中のキリストが、私たちを支えてくださったのです。

日本福音ルーテル大江教会  
立野 泰博

## 九州北部豪雨復興支援募金・阿蘇災害支援ボランティア ご協力をお願い

九州北部で発生した集中豪雨により被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。熊本YMCAでは下記支援活動のため、各施設の窓口で募金を受け付けます。募金期間：～2012年8月31日(金)

1. YMCA阿蘇災害支援ボランティアハウスにて行う、阿蘇市での救援・復興支援活動とボランティア受入れへの支援
2. 熊本YMCAが協働する熊本市・阿蘇市ボランティアセンターや社会福祉協議会への支援

銀行振込による募金の場合 【振込先】肥後銀行(普) 新町支店103 1296939  
口座名義 災害支援緊急募金 理事長 吉本 貞一郎  
＊氏名の前に「九州北部」とご記入ください。

◎阿蘇市内での排土・清掃作業、瓦礫の撤去、被災者の心身のケアなど、ボランティア活動にご協力いただける方は、各YMCAまたは阿蘇YMCAにご連絡ください。



## YMCA阿蘇キャンプ開設60周年 記念募金にご協力をお願いします

YMCA阿蘇キャンプ（阿蘇YMCA）は、九州で初めての教育キャンプ場として1952年（昭和27年）8月2日に開館され、今日まで阿蘇地域の皆様をはじめ、多くの方々にお支えいただき、今年60周年の節目の年を迎えることとなりました。

この間、阿蘇キャンプにおいて多くのキャンパーやリーダー、ボランティア、スタッフが育ってまいりましたが、そのことが今日も青少年の野外教育事業をはじめ様々なYMCA運動の発展につながっております。これからも次世代の輝く未来のために、阿蘇キャンプの諸事業を通して熊本YMCAの使命実現を目指してまいります。また、40年後の100周年に向けてのグランドデザインを構築し、さらなる歩みを

強めてまいる所存です。

この度の「YMCA阿蘇キャンプ開設60周年記念募金」は、阿蘇キャンプ60周年記念事業実行委員会のもと阿蘇キャンプにおける野外教育事業のさらなる充実発展のために不可欠な事業資金として活用させていただきます。

皆様には、厳しい経済環境下にあつて誠に心苦しいことではありますが、募金の趣旨にご理解をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年7月

公益財団法人熊本YMCA

理事長 吉本貞一郎

阿蘇キャンプ60周年記念事業

実行委員長 武藤 興紀



1952年落成式



### 60周年記念事業・記念募金

#### 1 事業内容

(1)阿蘇キャンプの施設改修

ミシガンキャンピングを家族単位での宿泊やグループ単位での会議、ミーティング等冬場でも床暖房で快適な多機能型のキャンピングに改修します。

(2)記念誌「阿蘇キャンプ60年のあゆみ」の発行

貴重な写真やメッセージ等で60年の歴史を振り返ります。

(3)60周年記念諸事業の実施

記念礼拝および式典等

日時/2013年2月16日(土)午後2時〜午後9時 会場/阿蘇YMCA 内容/記念礼拝、式典、記念コンサート、交流会

2 募金目標額および使途

目標額500万円

(1)施設改修(450万円)

(2)記念誌の発行(40万円)

(3)記念諸事業の実施(10万円)

3 募集期間

2012年5月1日〜2013年3月31日

4 募金額

個人/一口1000円・法人/一口5000円 ※何口でも結構です

5 募金方法

最寄りのYMCAにお持ちいただくか、指定口座へお振込みください。

公益財団法人熊本YMCAに対する募金（寄附金）は税制上の優遇措置を受けることができます。振込み先や募金方法については、ホームページまたは各YMCAでご確認ください。

## 熊日学童五輪体操競技

### 女子団体で優勝・男子団体で準優勝

7月8日(日)、熊本県立総合体育館

で「第38回熊日学童五輪」体操競技が開催され、熊本YMCAからは、スポーツスクールで日々練習を重ねてきた小学生の男女合わせて10名が団体戦と個人戦に参加。ゆかや跳馬など、男女それぞれ4種目に挑みました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、高く飛んだり、体をひねったり、技を披露しました。また、演技中の選手には「がんばり」と大きな声をかけて励まし合う姿も。結果は、女子が6年ぶり5度目の団体戦優勝と個人総合のタイトルを初めて獲得し、男子も団体2位という、見事な成績を収めることができました。

日頃は、リーダーの指導のもと、週3回の練習を積み重ねてきました。男子のキャプテンを務めた佐藤葵さんは、「練習して技ができるようになった時に達成感を味わえるので、体操が大好きです。今日は、つま先や膝などをきちんと伸ばして、きれいに見える演技をしよう」と話し合いました。2位だったのは残念ですが、みんなが全力で頑張ることができたと思います」と話してくれました。

3種目で1位となり、個人総合でも1位を獲得した女子キャプテンの小林菜生さんは、「普段、みんなと一緒に練習している時がとっても楽しい。試合中は緊張しましたが、今日は力を合わせて頑張って団体戦で優勝することができたのでうれしいです。九州大会までもっともっと技のレベルを上げ、上位入賞を目指したいと思っています」と、早くも次の大会に向けた意気込みを語ってくれました。九州大会は8月末に長崎市で開催される予定で、熊本県代表として熊本YMCAからは個人総合の上位に入った7名が参加します。





## Life

第49回

“いのち”“生活”  
“いきがい”をテーマに  
したメッセージ。



登校拒否・不登校に学ぶ  
フレンズネットワーク  
くまもと 代表

江藤 圭子さん ②

## 子どもの不安や悩みに寄り添い、 守ってくれる大人がいると伝えて

不登校児の特徴の一つは、学校に行きたいという思いはあるのに、体がついていけないという点。育った家庭と学校との価値観やルールの違いに悩むなど、理由が十分に分からず、学校に対して精神的な不安を抱えて苦しんでいるのに、他者からは“甘え”だと捉えられてしまいます。他の子どもが学校に行っている屋間に起きられないのは、学校に行けない自分が許せないと自らを追い詰めているからなのかもしれません。一方の親も自分の子育てが悪かったのではないかと自分を責めがち。登校を無理強いすると子どもの心が離れ、信頼関係が失われることもあります。特にいじめが原因の場合、家庭の中に自分を理解し、守ってくれる人がいると、子どもに安心を伝えることが大切。子どもへの接し方を変えることも必要でしょう。

熊本県では小・中学生をあわせて1500名ほどの不登校児がいると言われています。しかし、保健室には行くことができて、教室に入れない子どもの数までは把握できていません。以前に比べると社会の理解は広がっているようですが、対処法に留まらず不登校児を生まないようにするためにはどうすればよいかという視点に立って学校が安心して学び、過ごせる場になればよいと思います。

## 熊本YMCA第20回会員スポーツ大会

スポーツを通して親睦を図り交流を深める、会員スポーツ大会を開催します。競技はボウリングで、年齢や男女に関係なくご参加いただけます。ゲーム終了後には、お楽しみ抽選会も行われます。オリジナルのプラカードやコスチュームを準備してご参加ください。



日時：2012年9月22日(祝・土)  
9:00～12:00 8:30受付開始

会場：マスターズボウル熊本  
(熊本交通センター内)

主管：ICR・メンバーシップ委員会

運営：会員スポーツ大会実行委員会

内容：各YMCA・ワイズメンズクラブ・クラス等対抗のボウリング大会

ルール：・1チーム4人編成により2ゲームを行う(平均スコアで順位を決定)

・男女、年齢に応じたハンディを設定

・上位以外に飛び賞や特別賞を設ける

・ストライク1回につき100円を目安に募金(タイ里親運動支援)

参加費：1チーム4,000円(高校生以下は1人につき200円を割引)

※シューズレンタル代300円は別途個人負担

申込方法：所定の申込書に必要事項を記入のうえ、9月7日(金)までに参加費を添えて各YMCAへ提出してください。

詳細はホームページをご覧ください。

[www.kumamoto-ymca.or.jp/international/3414.html](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/international/3414.html)

お問合せ／熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877  
E-mail [icr@kumamoto-ymca.org](mailto:icr@kumamoto-ymca.org)

## TOPICS

地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

### お仕事探検フェアに参加 高校



7月11日(水)に高校1、2年生を対象とした「くまもとお仕事探検フェア」が開催され、YMCA学院高等学校と表現・コミュニケーション学科の生徒が参加しました。この催しは県内企業と専門学校がそれぞれブースを出展し、高校生に職業選択や職業理解の機会を提供するものです。生徒たちは企業のブースで各企業の取組みの説明や仕事の一端を実際に体験し、専門学校のブースでは様々な学科の内容を体験しました。将来の進路選択の助けになることを期待しています。

YMCA学院高等学校 福山裕敏

### 城下町くまもとゆかた祭 上通



7月14日(土)～15日(日)、熊本市中心市街地活性化事業の一つである「第八回城下町くまもとゆかた祭」に今年も参加しました。上通アーケードでの総合案内を行うとともに、国際協力募金、阿蘇の水害救援のためのバザーと募金も行いました。また、上通YMCA館内にボランティアによる着付けステーションを設置して、両日、約150名の来館がありました。参加したボランティアも延べ20名以上にのぼり、にぎやかな夏のお祭りを通して、地域一体の取組みに協力しました。

上通YMCA 古閑智恵

### 保護者がつくる園バザー 水前寺



『絆』をテーマに、人と人とのつながりを大切に協力し合いながら、水前寺幼稚園保護者会「おひさま会」の皆さんが、11月3日(土)の園バザーに向け、フルパワーで準備に取りかかっています。子どもたちの笑顔を想像しながらの手作りおもちゃや、思わず買ってしまいたくなる食バザー、毎年人気の園グッズや手作り品、リサイクル制服、物品バザーなど、保護者の皆さんの力で、幼稚園がにぎやかなお店に変身します。ぜひ当日は遊びに来てください。お待ちしております。

水前寺幼稚園 井上和美

## Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	ながみねファミリーYMCA	☎096-385-0676
YMCA学院	☎096-353-6393	むさしYMCA	☎096-248-6334
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	赤水保育園	☎0967-35-0024
みなみYMCA	☎096-378-9370	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
上通YMCA	☎096-352-2344	永草保育園	☎0967-32-0810
東部YMCA	☎096-382-6661	黒川保育園	☎0967-34-0402
水前寺幼稚園	☎096-362-4141	リフレスおおむた	☎0944-58-7777



## 思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心 キャラクター・ディベロップメント推進中

4月にながみねファミリーYMCAの体育英語幼児園(ラッコクラス)に入園した2歳児さんたちは、リーダーたちだけではなく成人プログラムに参加している皆さんに対しても自分から挨拶をしてくれます。皆さんから「挨拶をされてうれしい」という言葉をいただくこともありました。

また、荷物の準備や後片付けなどが自分たちでできるようになってきています。そんな成長を見て、私たちもとてもうれしく、心が温くなりました。(ながみね 徳永祥太)



【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会  
ウェルネス活動

地球環境の保全  
ボランティア活動

生涯学習の推進  
平和な世界

■ホームページ [www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)

■メールマガジン登録

[www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi)

